

タリシカ初良、氣温ニ一回流汗高トシテ途中斷力  
 シス落任者ヲ出シ目的地ニ到スル頃ハ既ニ一般ニ疲勞  
 ヲ増シ居タルハ此處ニテ餘勢ヲ盡シ解散後ハ各自  
 惻然トシテ痛踏ヲ急ケル。斯クテ本年、メーデーハ格別ノ  
 事故ナク終了ヲ告ケタルカ各部隊ノ行動ヲ見ルニ比  
 年其訓練ヲ増シ就中總同盟系ニ參加、大阪機械勞  
 働組合員約二千數百、大衆ハ隊伍整然、歩武堂々ト  
 シテ一般ヲ凌ぐ居タルト、大阪聯合會婦人部約八十名  
 ノ參加及西郡交通勞働同盟所屬、大阪市電從業員約  
 三百九十名ノ正服正帽ニテ參加シ居タルハ特ニ異約ヲ  
 放テリ(警保局長(廣信)ニハ終了ト同時解散電報セリ)  
 各派遣部隊、動靜取締、状況左記

御參考迄及申(通)報矣也

左記

。組合聯合

一、組合聯合(及總同盟側)ニ於テハ午前十時頃ヨリ各々  
 任々集合地ナル中、島公園壇割東側ニ集居定刻ナ  
 ル正午十二時總指揮者河村政次、因幡真呼アリテ  
 參加員各自三色旗三角小旗ヲ携ヘ各團旗ハ會旗(十  
 ハ本)長旗(源清左記)ヲ携シテ整列、純向上會河村政次ハ  
 揮旗開始、挨拶トシテ  
 メーデーハ萬國ノ勞働者カ腕ノ力ノ尊サヲ資本階級ニ  
 対シ其ノ反省ヲ促ス曰テアル。我日本ニ於テハ第五回、メ  
 ーデーテアルカ、斯ク又多數ノ參加者ヲ見タルハ我カ勞  
 働運動ノ將未益々發達スヘキコトヲ物諸ルモノト信ス  
 ル此運動ハ資本主義制度ヲ葬ルヘキ豫備行爲トシ  
 テ最又意義アルモノナルカラ各位ハ自重自勵訓練  
 アル團體運動ヲ行ハレ資本階級ニ對シ與共ニ組織勞  
 働者トシテノ威力ヲ感セシメネハナラヌト云ハ次テ

土工組合 後藤田正毅